

防災アプリ「SHS 災害.info」の開発 ～防災教室を行って～

宮崎県立佐土原高等学校 児玉 夏埼（1年） 長田 雪那（1年） 祝田 兼伸（1年）
岸上 幸太郎（1年） 肥後 詩桜裡（1年）

1 はじめに

私たちが所属する情報技術部では、2017年から防災アプリを開発し続けています。アプリ名は、佐土原高校生が災害や防災に関する情報を発信するという意味で「SHS 災害.info」です。開発当初から、プログラムは情報技術部が、デザインは産業デザイン科がこだわって作っており、大人も子供も使いやすい防災アプリを目指しております。2021年からは、宮崎地方気象台からの助言をいただき、気象に関する防災機能の開発を行っています。

2023年12月、開発している防災アプリを使って、小学生に向けて防災教室（写真1, 2）を開きました。対象は小学生約90名とその保護者。



写真1

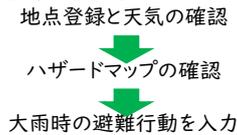


写真2

2 防災教室アンケート結果

昨年の12月9日に広瀬北小学校にて、高校生約30名で、5年生の皆様に向け防災教育を行いました。

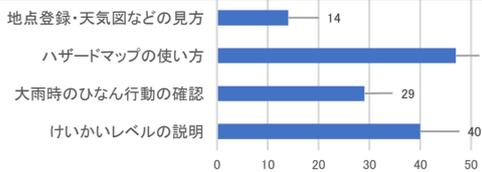
防災教室の内容



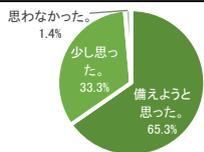
(1) アンケート結果

児童アンケート(74名)

今回の防災教室で参考になった内容はどれですか。よかった内容をすべてチェックしてください。



災害に備えようと思う機会になりましたか？



防災アプリにどんな機能があるとよいでしょうか？

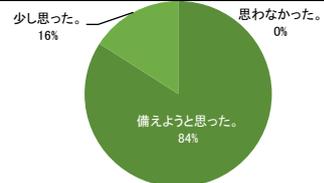
- ◆ ふりがながつけてほしい。
- ◆ 子どもが読めるように、ふりがなをつけてくれる機能があるとい
- ◆ 音がなる機能
- ◆ 災害が起きたときにあぶない
- ◆ 災害がいつ起きるか
- ◆ 津波が来た時や災害のとき音が出る機能
- ◆ 何かがおきたら警報や、その情報がすぐに出来るアプリ
- ◆ 地震発生の通知
- ◆ 音がなり、警戒音などの普段聞かない音を災害発生時になる機能

保護者アンケート(44名)

今回の防災教室で参考になった内容はどれですか？



災害に備えようと思う機会になりましたか？



防災アプリにどのような機能があるとよいでしょうか？

- ◆ 事故や不審者等に出会った時に、どのような対応をすれば良いか分かる機能。いざという時にパニックになることもあると思うので。
- ◆ 検索しなくても、災害情報お知らせしてくれると嬉しいです。
- ◆ 避難所開設、空き状況も

(2) (1)からわかったこと

本アプリの大雨時の避難行動を入力する画面では、小学生には難しい言葉が用いられているため、ふりがなを入れてほしいという要望が多くありました。また、災害前に活用できたとはいえ、災害時に活用しにくい、緊急時にサポートできる機能を追加してほしいといった要望も見受けられました。

3 結果・考察

2の内容と宮崎地方気象台からのアプリ改善案より、下記の項目で本アプリの改修作業を行いました。

(1) 音声案内

[大雨時の行動]という画面にて、各質問の枠内にスピーカーマークを設け、タップすることで、質問に関する音声の流れ、内容が難しくとも回答を気軽にできるようにしました。

(2) 宮崎地方気象台のマップの追加

AED や担架の情報を表示するマップが、「佐土原高校」と「ひなた宮崎総合運動公園」しかなかったため、新たに宮崎地方気象台の方から頂いた座標の情報をもとに、マップを追加しました。

(3) キャラクターの吹き出し

気象庁のマスコットキャラクター「はれるん」や佐土原高校のマスコットキャラクター「さくじら」の画像をアプリ内に組み込み、自己紹介をはじめ、アプリの操作方法を吹き出し内書き込み、キャラクターへなじみややすくする、アプリを最大限に活用できる工夫を凝らしました。

4 今後の課題

- (1) 多言語化(ベトナム語や中国語)に対応できるようにする。
- (2) 世帯に対応した非常時持ち出し物品リストを開発する。

5 まとめ

「SHS 災害.info」のコンセプトは「より多くの人のために」です。今後、「SHS 災害.info」を良い方向に導くため、アップデートを重ねて様々な機能を提供し、防災の幅を広げられるツールにしていく他、SNS 等で情報発信をし、より多くの方に使っていただけるように精通してまいります。

Play Store や、App Store で「SHS 災害」と検索すれば、ダウンロードすることができます。是非、本アプリをご活用ください。

6 謝辞

本アプリの開発に当たり、プログラミングのサポートをしてくださった顧問の吉川先生、アプリのデザインを考えてくださった産業デザイン科の皆様、アプリの改善点の提案をくださった宮崎地方気象台の皆様にご協力頂きました。お力添えを賜り、感謝申し上げます。